

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Himawari+Academy西宮校 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年10月1日		～ 2024年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援と小集団活動が行われている。 保護者のニーズを聞き取り、個々に合わせた支援ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どものやりたい気持ちを優先し、個々の課題にも取り組めるように順番に行く。(意欲の向上) 保護者とのコミュニケーションを取り、信頼関係の構築を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との信頼関係を、さらに充実させる。
2	<ul style="list-style-type: none"> 専門性のある職員が在籍しており、情報共有が図りやすい。 個室が完備しており、静と動を切り替える環境が整っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内研修による職員のレベルアップ 活動内容による部屋の割り振りや、個室が必要な時に対応できるように用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有を常に行う。
3	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援を実施しており、移行支援に向けた取り組みが行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問の報告書を、職員全員で共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事例を元に職員で話し合い、より良い支援を行うことができる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> プレイルームが狭い。 	<ul style="list-style-type: none"> 広いスペースの確保(プレイルーム) 	<ul style="list-style-type: none"> スペースの使い方や環境の設定を行う。
2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や子どもが、職員の顔と名前が一致しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の名前を公表していない。 	<ul style="list-style-type: none"> お知らせ等配布物を使い、職員の名前と顔を周知してもらえるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> 園送迎などで、保護者と会う機会がなく話をすることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 園から園の送迎など、直接保護者と会う時間が確保できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に面談を勧める。